

統計数学 IA 第 4 回

担当：三角 淳 2015 年 5 月 12 日

講義概要 (教科書 p13–15, p21–22 も参照)

- ・ 第 1 章の補足：棒のランダム分割に対応する確率空間。
- ・ 条件付確率の定義： $P(A) > 0$ のとき、 $P(B|A) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)}$ 。
- ・ 乗法法則：

$$\begin{aligned} & P(A_1 \cap A_2 \cap \cdots \cap A_n) \\ &= P(A_1)P(A_2|A_1)P(A_3|A_1 \cap A_2) \cdots P(A_n|A_1 \cap A_2 \cap \cdots \cap A_{n-1}) \end{aligned}$$

レポート問題 以下の [1] の解答を、次回の授業のはじめに提出して下さい。(授業に関する要望・質問等があれば、レポートの余白に記入して下さい。)

[1] 区間 $[0, 10]$ 上の 1 点をランダムに選ぶ。但しどの点も同等に選ばれるとする。このとき選んだ点が区間 $(3, 4)$ または区間 $[5, 8]$ に入っている確率を求めよ。

補充問題

[2] 1 から 6 の番号の書かれた 6 枚のカードから 1 枚を取り出し、元に戻さずにまた 1 枚を取り出す。1 枚目に 4 が出る事象を A 、2 枚とも 3 以上が出る事象を B 、少なくとも 1 枚は 5 以上が出る事象を C とするとき次を求めよ。

(1) $P(B|A)$, (2) $P(C|B)$.

[3] 条件付確率は確率となる事を示せ。すなわち、確率空間 (Ω, \mathcal{F}, P) と $P(A) > 0$ をみたす事象 A が与えられたとき、写像 $Q: \mathcal{F} \rightarrow \mathbb{R}$ を

$$Q(B) = P(B|A) \quad (B \in \mathcal{F})$$

で定めると Q は確率の公理をみたす事を確かめよ。